

2025 札幌記録会 第 1 戦 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場及び練習について

練習は、競技場の許可された場所(3~4 コーナー外側、直線競技時のバックストレート)を使用し、器具を用いた練習は認めない。

競技場内での練習は、午前 8:00 までとする。

3. 招集および招集の方法について

(1) 招集所は競技場南側ゲート付近(100m スタート付近)に設ける。

(2) 招集開始時刻は、その競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック 競技 招集開始 25 分前 招集完了 15 分前

フィールド競技 招集開始 40 分前 招集完了 30 分前 (棒高跳は招集開始 60 分前～完了 50 分前)

(3) 競技者は出場種目の招集時刻がきたら招集所で点呼を受ける。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技を棄権したものとする。

(5) 競技を棄権する競技者は、事前に招集所に申し出ること。

(6) 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を招集所に申し出て出場を確認する。

(7) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

4. アスリートビブスについて

(1) 全ての競技者はアスリートビブスを自分で用意し、ユニフォームの胸・背に確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。

(2) セパレートレーンで実施する種目の腰ナンバーカードは、各自で用意すること。

(3) オープンレーンで実施する種目に出場する競技者は、出発地点で競技者係より、レーンビブスと腰ナンバーカード(主催者が貸与する)を受け取り、短パンの右腰やや後ろに付ける。ゴール後必ず回収箱に戻すこと。

5. 競技について

(1) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分のレーン(曲走路)に沿って走り終わること。

(2) スタートの合図は英語で行い、各レースでの不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

(3) リレーオーダー用紙は、第1組招集終了時間の1時間前までに競技者係に提出する。

(4) 5000mW は、男女同時スタートとし、競技運営上、男子 30 分、女子 35 分以内に 4600m を通過出来なかった者は、競技を中止させ、失格とする。

(5) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を跳躍審判員に申し出る。

(6) フィールド内での投てきおよび跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対に行わないこと。

(7) 2 種目同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、「パス扱い」となる。

(8) 競技結果は北側入口付近に掲示するが、記録速報サイトでも確認することができる。

6. フィールド競技

(1) 三段跳の踏み切り板は、砂場から男子 11m、女子 8m とする。

(2) 高校・一般種目の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種 目	練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳男子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m75 以降 3cm 刻み
走高跳女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m55 以降 3cm 刻み
棒高跳男子	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m60 以降 10cm 刻み
棒高跳女子	1m60	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m80 以降 10cm 刻み

(3) 第 1 位決定のバーの上げ下げは、走高跳で 2cm、棒高跳では 5cm とする。天候その他の条件によって、変更する場合は当該審判長が決定する。

7. 競技場内への入退場について

- (1) 競技場への入退場は全て、競技役員の指示により行う。競技者以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技における競技者は、北側ゲートから退場し、メインスタンド前を通らない。
- (3) フィールド競技における競技者は、当該競技役員の指示に従い退場する。
- (4) 選手同士の密を避けるため、選手への付き添い等は行わない。

8. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、その競技開始前に跳躍ピットで跳躍審判員の検査を受け、許可されたものを使用できる。（やり、ハンマーも個人所有のものを認める。ただし、本部前にて競技開始1時間前迄に検定を受けること。）
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納すること。（マーカーの数は既定の数を超えないこと。）
- (3) 競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム等）は各自で用意すること。競技場では用意しない。

9. 競技用靴について

- (1) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。走高跳とやり役では12mm以内とする。
- (2) 競技用の靴は、TR5.2を適用する。ただしフィールド用の靴底の厚さについてはこれを適用しない。よって記録は国内のみ通用するものとなり、WAへの申請も行わない。

10. 応急処置について

大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

11. 開門及び競技場開放時間について

- (1) 競技場駐車場は競技役員専用（駐車証必要）です。公共交通機関又は動物園第2駐車場(有料)をご利用ください。*棒高跳ポール搬入は事前に担当総務に相談してください。
- (2) 競技場 6:30開門
※お願い 開門後、会場設営を行うので、顧問の皆様のご協力をお願いします。
- (3) 競技場開放時間
第1日目 4月27日（日） 6:45～8:00
第2日目 4月29日（火） 6:45～8:00

12. その他

- (1) 競技場内には規定外の商社名・商品名を付けたスパイク袋またはバックを持ち入れてはいけない。
- (2) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意すること。
- (3) 競技場内には映像機器や音楽プレーヤー、スマートフォン等の通信機器を持ち込むことはできない。また、練習器具も持ち込むことはできない。
- (4) 盗撮行為等防止のため、望遠レンズを使用しての撮影を禁ずる。また競技場スタンドに撮影禁止区間を設ける。（撮影禁止区間および撮影を制限する時間帯はプログラムを参照すること）また、試合内容をSNS等（YouTubeを含む）への投稿を禁止する。
- (5) テント設置の場合は本競技場敷地内とし、敷地外には設置しないこと。設置の際各自・各チームで責任をもって突風でテントが飛ばされたり、倒れたりしないようテントの説明書に従い確実にロープ等で固定すること。
テントを固定する際、テントのロープを競技場フェンスに結ばないこと。通行の妨げや転倒事故の原因となり、非常に危険である。
※1日目の終了後、希望するチームにはテントを用器具庫にて保管することができる。但し、自己責任にて保管すること。
- (6) ゴミの始末については、各自・各チームで責任を持って行い、競技場にはいっさい捨てないこと。

- (7) メインスタンド中央通路より下側の席は一般の応援の方、個人で参加する方の席とするため、参加選手(団体)がシート等で場所を取ることは控えること。
- (8) GW 期間は円山動物園駐車場が非常に混むことが予想されます。選手並びに応援の方の駐車場はありませんので、極力公共交通機関を利用してください。